

ナシ極早生品種「香麗」「甘ひびき」の推進

農業技術振興センター農業革新支援部

【普及活動のねらい・対象】

7月下旬～8月上旬に収穫できる極早生品種の「香麗」と「甘ひびき」の2品種を、県や県果樹組合連合会ナシ部会として推奨できる品種として昨年度に選定しました。

今年度は、この2品種について、多くの県内ナシ生産者に知ってもらい、導入を進めました。



写真1 品種特性への理解を深める研修会

【普及活動の内容】

この2品種について理解を深めてもらうため、7月30日に研修会を開催しました。研修会では、昨年度から品種選定に協力をお願いしている県内の4戸の生産者と花・果樹研究部から果実を入手し、果形や大きさを比較してもらいました。また、味を確認するために試食も行いました。

さらに、今後の生産拡大を見据え、滋賀びわこ青果株式会社果樹担当者とも情報交換を行い、果実品質の評価と将来性について聞き取りました。

地域	果実重 g	果皮色 地色	糖度 %
幸水(佐賀)※	338.5	3.1	11.1
①香麗(愛東N)	325.8	3.9	12.4
②香麗(愛東F)	389.8	3.3	12.8
③香麗(花果樹)	306.0	3.1	12.3
④甘ひびき(竜王)	447.1	2.4	12.8
⑤甘ひびき(甲賀)	383.7	2.2	12.4
⑥甘ひびき(花果樹)	358.0	3.3	13.1

※ 県外産、量販店で購入

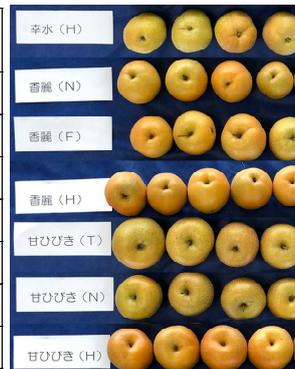


表1・写真2 試食に供したナシの果実品質と外観の比較

【普及活動の成果】

コロナ渦ではありましたが、研修会には49人の参加があり、良好な評価が得られ、2品種についての理解を深めることができました。また、滋賀びわこ青果株式会社果樹担当者との情報交換でも、果実品質の評価は高く、7月末～8月上旬に収穫できる品種として有望で、生産拡大を期待されています。

現在、近江八幡市で新規にナシ団地づくりが進められており、この2品種の導入も検討されています。また、その他の既存産地でも関心が高まっています。現在の導入面積は、「香麗」が64a(R2:19.4a)、「甘ひびき」が15.7a(R2:12.7a)と昨年に比べて徐々に増えてきました。本格的な収穫・販売に繋がるよう、さらに推進したいと考えています。

◎対象者の意見

食べた感想として、両方とも違いがあり、どちらの品種も取り入れたいと思います。
(A氏／東近江生産者)